

# 富谷高校だより 第52号

発行：宮城県富谷高等学校

〒981-3341 黒川郡富谷町成田2丁目1-1

平成27年 7月24日発行

TEL 022-351-5111

FAX 022-351-5112



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

Member of



UNESCO  
Associated  
Schools

## 躍進! 囲碁・将棋同好会 !!

6月26日(金)27日(土)と仙台二高で行われた「第39回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会宮城県大会」において、快挙を成し遂げました。

Bクラス優勝 3年6組 安田浩崇(住吉台中)

Cクラス優勝 3年6組 小宮翔太

(東向陽台中)

団体戦 第3位!

団体戦のメンバーは、大将：安田浩崇、副将：宮原幹太(3年6組・東向陽台中)、3将：船渡馨斗(2年6組・向陽台中)の3名。並み居る強豪校を打ち倒し、宮城県で第3位となりました。

宮原君からのコメントです。

囲碁・将棋同好会は、7名(うち女子2名)で活動していますが、3年生が引退すると3名になってしまいます。囲碁は、相手との戦いをおして精神的に成長できる「スポーツ」です。初心者でも、頭を使えば十分渡り合えます。心を成長させたい高校生にはふさわしいと思います。私たちは後継者を求めています。ぜひ、伝統を受け継いでください!

## 地域とともに歩む J R C

本校の生徒会組織の中で、最も地域貢献活動に励んでいるのがJRC(Junior Red Cross)同好会です。今年の樹咲祭では、昨年に引き続き富谷町特産のブルーベリーを使用したスイーツを紹介します。そのための研修として、7月18日(土)には町内のブルーベリー農家を訪問しました。地域特産品マイスターとして活躍される佐藤一夫さん(富谷町明石上向田)の農園に集合した生徒は、炎天下の中、ブルーベリー栽培の苦労や課題について聞き取り、実際に摘み取り体験もさせていただきました。今では町を代表する特産品となったブルーベリーですが、稲作の代替として普及するまでには大変な苦労があったと知りました。

JRCはこのほかにも、ボランティアや交流会など地域でさまざまな活動を展開しています。生徒の活躍は、今後も随時紹介します。

## 勝利に向かって、球技大会!

7月8日(水)9日(木)と、2日間にわたり校内球技大会が行われました。好天にも恵まれ、生徒は8種目の競技によって学年を超えて覇を競いました。総合成績は次のとおりです。

第1位 3年1・2組連合チーム

第2位 3年4・5組連合チーム

第3位 3年6・7組連合チーム

今年は3年生の完全優勝でした。そろいのクラスTシャツが躍動する球技大会でした。

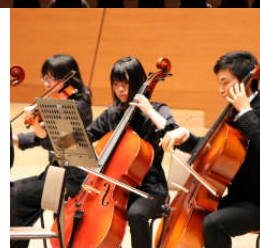
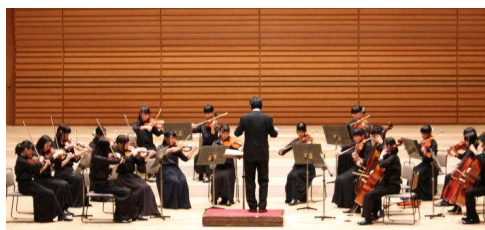


【JRCの今年度の主な活動】

- ・特別養護老人ホーム訪問ボランティア
- ・地域夏祭りボランティア
- ・樹咲祭での物品販売
- ・手話学習 など

## 合唱と弦楽の調べに陶然

7月19日(日)に「第18回合唱部&弦楽合奏部定期演奏会」が日立システムズホール仙台のコンサートホールで行われました。クラシックからポピュラーまで幅広い楽曲を披露した生徒たちは、日頃の練習成果を十分に発揮できたようです。足を運んでいただいた方は約400名。暑さを忘れるひとときでした。



弦楽合奏部の前部長 3年3組 大沼末季さん(鶴谷中)からいただいた抱負です。

私たち弦楽合奏部は、7月27日から29日に滋賀県で行われる「全国高等学校総合文化祭」に、宮城一高と合同で出場してきます。定期演奏会も終わり、3年生にとっては最後のステージになります。弦楽合奏部は県外への遠征も多く、一年をとって忙しい部活で、時には辛いこともありました。最後まで続けられたのは熱心に指導してくださった顧問の先生はじめ、保護者・OB・OGや地域の方々の支えがあったからです。全国の舞台では、すべての人たちへの感謝の思いを弦に乗せ、今までの練習成果が発揮できるように頑張ってきます。

## 授業力向上に励んでいます

7月15日(水)に、「第2回公開授業研究会」が開催されました。昨年度に引き続き、『自己変革を可能とする学習力の育成～協働学習を取り入れた確かな学びの創出～』を研究主題に、地理・数学・英語の教員3名が研究授業を行いました。校外からも24名の先生方が来校し、ともに研鑽を深めました。分科会では、高校教育課指導主事の先生から指導助言をいただき、全体会では本校の学校評議員を務める宮城教育大学の市瀬智紀教授から講評をいただきました。市瀬先生は、研究主題に掲げた「自己変革」の難しさに言及され、この授業研究会を今後も継続するよう期待の言葉を述べていただきました。当日の様子は、ホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

最後は、6月下旬から3週間にわたって教育実習にきていた2人からのメッセージです。



「16回生の松田 涼です。今は仙台大学で、野外活動や野外教育を中心に学んでいます。教育実習は、あっという間でした。富高生の皆さん、学生時代に誰もしないようなことにチャレンジしてみてください。必ず新しい発見があり、人生の糧となります。ちなみに私は、サッカー選手と無人島生活をしてきました。学校生活に悔いが残らないよう、これからも頑張ってください。本当にありがとうございました。」

「富谷高校16回生の上女鹿かれんです。東北福祉大学で心理学について勉強しています。3週間、養護教諭として皆さんと関わり、たくさんのお話をさせていただきました。在校生の皆さん、それぞれの夢や目標に向かって、これからも頑張ってください。」